

SAXOPHONE

サクソフォン



◆出身 埼玉県立伊奈学園総合高校・東京芸術大学・大学院
◆所属 大阪市音楽団
◆趣味 骨董市、古本屋めぐり
◆血液型 O型
◆星座 おうし座
◆読者にひとこと いつも心に音楽を！
◆手紙の送り先 BJ 気付
◆ホームページ <http://nao.misax.exblog.jp/>

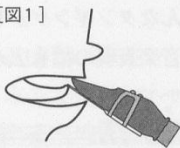
第一印象は大切です！ タンギング

毎日暑いけど、みんな夏バテしてないかな？ 最近はエアコンのある学校も増えてるけど、やっぱり夏は汗かかないとね〜。ただし、汗をかいたらちゃんと水分塩分を補給しましょう！ タバタは室内だと思って油断して、熱射病になりかけたことあるのだ(>_<)。みんなも注意してね！

さて今月のお題は「タンギング」。舌をリードに触れて一時的にリードの振動を止めることをタンギング、または舌つきと言います。これは音を区切ったり、アクセントやスタッカートをつけるときに必要不可欠な技術です。音の出だしを決めるこのタンギングが荒っぽいと、よい音でも荒っぽく聴こえるから不思議、第一印象って大切なんです。口の中のことで見えないから分かりにくいかもしれませんが、まずはやってみましょう！

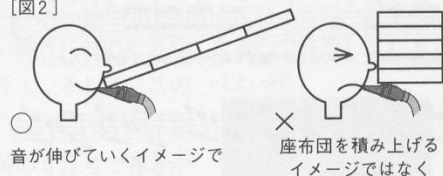
■タンギングの方法

①舌の先端か中あたりをリードの先端に軽く触れる。決して舌でリードをペンペン叩かないように！ 中低音域では「トゥ」、高音域では「ドゥ」**【図1】**か「ル」で発音するときれいに聴こえますよ**（【図1】）**。



②息の流れを妨げずにタンギングする。舌の動きはすばやく。座布団を積み上げるのではなく、音が伸びていくイメージで**（【図2】）**。

【図2】



③息の量やスピードを充分に入れた状態でタンギング。常にタンギングより息がしっかり吐けていること。柔らかいロールケーキはうまく切れず、つぶれやすいですよ？ 息も柔らかすぎたり弱すぎる

とダメ！

■タンギング時の注意点

- ①下あごをかみ過ぎたり力み過ぎたりして、音がつぶれていないか？
- ②息のスピードやおなかの支えが、タンギング時にゆるんでいないか？（1音ずつ腹圧をかけるのは余韻をつけたいときだけにしましょう。立ち上がりがあいまいになりやすいし、連続したタンギング時に遅れてきます）
- ③舌をリードにつけすぎて、アタック音のみになっていないか？
どう、みんなできたかな？ それでは以下の方法で毎日トレーニングしましょう！

■タンギングの練習方法

音階を使ってまずはゆっくりから。ロングトーンのとときと同じく、鳴らしやすい中音域から始めるとやりやすいです。全部の音でやってみよう！（**【譜例1】**）

応用編として以下の練習もしてみよう！

- ①ほとんど舌をつかないタンギングから、はっきりつくタンギングへと、つきかげんを変化させる練習。
- ②音量を変えて練習。cresc. dim.をつけて。
- ③いろいろなリズムで練習**（【譜例2】）**。

音量や音域によって、舌のつき加減を少しずつ変えていかないと、うまくいかないのが分かったかしら？ 高音域や弱音では息の量が減るのでタンギングも楽に、舌のつく面積も減らします。低音域や大音量では息の量が増えるので、その分クリアにタンギングしないときれいに聴こえないのです。

■速いタンギングの練習方法

ゆっくりならきれいにタンギングできるのに、速くなったとたんうまくできない(T_T)というあなた、力み過ぎです！ でも自転車に乗れるように

なるのと一緒に、訓練さえすれば誰でも♩=120で十六分音符のタンギングくらいはできるようになりますからご安心を。かくいうタバタも速いタンギングは苦手で、リードを血だらけにしながらか練習しました（って、どれだけ力んでたのか分かりますね……）。そんなタバタの編み出した「速いタンギングの練習方法」、お試しあれ。

①まずは速いテンポに慣れる。♩=120~200で四分音符をすべての音域できざむ**（【譜例3】）**。

②一瞬でいいので速くきざむ**（【譜例4】）**。

③早口言葉を大きな声で、できる限り速く言う**（【譜例5】）**。

常日頃からハッキリ話す癖をつけましょう。ふだん動かしてない舌を動かそうとしても急には無理ですからね〜。

■まとめ

あなたの音色の印象を決めるタンギング。どんなときもタンギングを乗り越える息の流れを意識して、美しい発音&音色で吹けているか、よ〜く聴きながら練習しましょうね♪

【譜例1】 ♩=60

【譜例2】 ♩=60~120

いろいろなリズムでも全音域でやってみよう

上と同じ

【譜例3】 ♩=120~200

【譜例4】 ♩=80~126

【譜例5】
できる限り速く！